

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)綾瀬物流施設計画 立体駐車場	階数	地上3階
建設地	神奈川県綾瀬市小園字下原720-1 他	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	300 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年6月 予定	評価の実施日	2020年1月13日
敷地面積	1,448 m <sup>2</sup>	作成者	(株)銭高組一級建築士事務所
建築面積	913 m <sup>2</sup>	確認日	2020年1月13日
延床面積	2,707 m <sup>2</sup>	確認者	(株)銭高組一級建築士事務所



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 0.0

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.5

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
<p>工事中の東名高速道路の綾瀬スマートインターチェンジに隣接、県道42号沿い、海老名駅の南東約2.5kmに位置している工業専用地域に、綾瀬市開発行為に関する指導要綱に基づき計画している物流倉庫に併設する立体駐車場を計画した。</p>	0	
<p>Q1 室内環境</p> <p>該当なし。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>0.1 ≤ 壁長さ比率 &lt; 0.3 とした。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地外周部に低木・中高木を配置し高さ方向に段階を与えることで、建築物による圧迫感を軽減させる計画とした。歩行者が身近に感じる県道側、エントランス付近は季節の移ろいを感じる植栽を選定した。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>該当なし。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>0</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>燃焼機器の不採用にて、大気汚染防止対策とした。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される